



土砂災害防災訓練(図上訓練)のようす
(6月1日・荏川町)

土砂災害から命を守る

6月は土砂災害防止月間です

土砂災害は降雨や地震により突然発生し、生命や財産を瞬にして奪ってしまう非常に恐ろしい災害の一つです。近年は地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の勢力が増し、大雨の頻度も多くなると言われており、より一層、土砂災害への備えが大切になっています。また、梅雨入りや台風の影響など、これからの季節は特に警戒が必要です。

土砂災害には3つの種類

土砂災害とは、降雨などにより山やがけが突然崩れることで、大きく3つの現象に分けることができます。日本の国土は、急峻な山地、流れの急な川、雨の多い気候など、土砂災害が発生しやすい自然条件にあります。

1 土石流

山や谷の石や土砂が大雨によって水と一緒に流れて、はげしい勢いで一気に下流へ流れ出します。

2 がけ崩れ

地中に染み込んだ雨などによって斜面の安定性が弱まり、さらに降った雨や地震の影響

で突然斜面が崩れます。

3 地すべり

斜面の表土が地下水と重力の影響によって広範囲で動き出します。

こんな時は要注意！ 土砂災害の前兆現象

- 急に川が濁る
- 山鳴りがする
- がけに割れ目ができたり小石がパラパラと落ちる
- 地面がひび割れる
- 井戸や沢の水が濁るなどの現象が見られたら要注意です！

積極的な情報入手と 早めの避難を

普段から最新の気象情報をテレビやラジオ、インターネットなどで把握しましょう。また、土砂災害の前兆現象を確認した時は、早めの避難を心がけるとともに、市役所または最寄りの支所に連絡してください。

日ごろからの 備えも忘れずに

土砂災害から身を守るために、日ごろから備えられることがあります。さまざまな準備を個人や家庭、地域で行っておきましょう。

- 危険箇所や避難経路の確認
あらかじめ危険箇所や避難

経路、避難所をみんなで確認しましょう。

● 実際に避難訓練を

地域で避難訓練を行っていただくことで、高齢者などの要配慮者への対応や避難に要する時間が分かれます。

● 非常時持ち出し品の確認

緊急時にすぐ避難できるよう、食料品や飲料水などの非常時持ち出し品を最低3日分用意しておきましょう。

ハザードマップを 活用しましょう

ハザードマップには、発生が予想されるさまざまな災害(土砂災害や洪水など)に対し、危険区域や避難に関する情報がまとめられています。

町内会を通じて配布していますが、お持ちでない方は危機管理室・各支所までご連絡をお願いします。



普段からの備えのために 高山防災ラジオ

高山防災ラジオは自動でスイッチが入り、緊急地震速報や災害に関する緊急情報を受信できます。

お求めは最寄りの高山電機商業組合加盟店までお願いします。



問合先

危機管理室
☎35-33345

台風や大雨による土砂災害をはじめ、川のはん濫や地震など、わたしたちの身の回りにはさまざまな災害が起きる恐れがあります。いざという時に生命や財産を守るため、普段からの積極的な情報入手と早めの避難、平常時の準備を心がけましょう。